This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images,
Please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

40c072:31 A MAR 1994

(54) ELEVATOR GATE DEVICE (11) 6-72681 (A) (42) 15.3.1994 (19) JP (21) Appl. No. 4-251988 (22) 28.8.1992 (71) MITSUBISHI ELECTRIC CORP (72) NORIHISA YAMASHITA(2) (51) Int. CP. B66B13 30

PURPOSE: To provide an elevator gate device wherein a smoke interrupting means is provided around a door.

CONSTITUTION: A device provides a door 5 formed with a space in a frame unit 5 of a gate 4 to open close it and a tilt smoke interrupting plate 15 of separating a door stop end side of the door 5 from the frame unit 5 more than a door pocker end side along an edge part along a direction of opening closing the door 5 to tilt relating to an opening closing route. The device provides a contact plate 17 brought into contact with the tilt smoke interrupting plate 15 at the time of fully closing the door 5 along an edge part opposed to the tilt smoke interrupting plate 15 of the frame unit 5. The device provides an orthogonal smoke interrupting plate 12 along an orthogonal edge part orthogonal to a direction of opening closing the door 5 in the door pocket end side, arranged so as to come into contact with an edge part outside of the frame unit 5 at the time of fully closing the door 6. The space between the frame unit 5 and the door 6 is closed through the tilt smoke interrupting plate 15 and the orthogonal smoke interrupting plate 12. Accordingly, by the device which can be simply constituted and manufactured with the small expense, smoke interrupting action is obtained in the door of the gate at the time of a building fire.



(51) Int.Cl.⁴

B 6 6 B 13/30

進列記号 庁内亞理論學

R 9243 - 3F

Fί

技術表示箇所

(21)出頭番号

特頭型4-251988

(22)出類日

平式4年(1992) 3月28日

(江)出額人 000006013

江亚省境技术会社

東京都區代田区丸の内二丁目2番3時

畫流清於 未請求 請求項の数2(全 6 質)

720 発明計 山下 意久

稲沢市支町|番地 稲菱デクニカ株式会社

(12)発明者 玉本 知其

稲沢市逐町上番地 三逐電境株式会社稲沢

製作新四

(72) 強明者 唐明 王亞

稲沢守芝町1番地 三菱藏母株式会社稲沢

四个引度

(計)代達し 守理上 葛凱 諸一

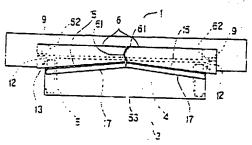
(54) 【発明の名称】 エンベーター出入中接頭

(57)【要約】

【写 】】 遮梔手段を戸濁りに設けたエレベーター出入 口装置を得る。

【構成】 出入口(4)の際体(5)に隙間を形成し出入口 (4)を開闢する戸(6)と、戸(6)の開閉方向に治う縁部に 沿って戸(6)の戸当り満済りが戸後満済りよりも標体(5) から離れ、開閉経路に対して頃いた傾斜速煙板(15)を設 ける。また、枠(4/5)の飼料透焼板(15)に対向した縁串 に沿い戸(6)の全開時に傾斜速境板(15)に接する接触板 (17)を設ける。また、戸(6)の戸袋瑞安りの開閉方向に 直交した直交縁部に治って重交透煙板(12)を設け、戸 (6)の全開時に辞体(5)の縁部外側に接するように鑑賞す る。そして、傾斜途増板(18)及び真空逻模板(12)を介し て経体(5) 上草(3) 3原間を開催する。

【効果】 一切号に構設できかない費用で製作できる装置 により、進行代表語に出てたの所における遺標作用を得 **5**.



"出人口 4

5 - 松体

5. 🥦

12 : 道茨选短版

15 . 網科這座沒

17 :符程版

整体(日本国特許学

。 《特許請求の範囲》。

【請求項:】 エンバーターの出入口を構設する存律 と、この経済の流量に激励を形成して対面して配置され れ、上記と置に合う方向に移動して上記出入三を開閉す 老師と、このはら智慧方調に治る縁頭に治って設ける私 上記録の序台の場合のお呼吸消費のよりも上記録体がら 離れ、上記声の開閉経路に対して傾いて配置された傾斜 遺植板と、出記特体の圧配域影響機関に対向した縁部に 治って設けられる関時の上記甲の严治し消費りが戸袋湯 寄りよりもと記点は接近して配置されてと記点の全開時 に上記憶部連通板に接する接触板と、上記声の声優端奇 りの上起開門市南に直交した道で縁即に沿って設けられ て上記辞作側に張り出して配置され、上記草の全間時に 上記枠体の上記直で縁起に対向した縁型外側に接する道 交流運搬とを構えたエレベーター出入口装置。

【請求項で】 エレベーターの出入口を構成する枠体 と、この枠はのご面に隙間を形成して対面して配置さ れ、上記立面に占う方向に移動して上記出入口を開閉す る声と、この声の関閉方向に沿り級部に沿って設けられ 上記中の声音に描着りが声楽消儀のよりも上記時体から、20~ 離れ、上記中の開閉経路に対して傾いて配置された傾斜 遭煙板と、上記枠体の上記憶料連煙板に対向した縁部に 沿って設けられる措辞の上記草のデュー清新りが戸袋満 寄りよりも上記草に接近して配置されて上記率の心閉時 江上起讀斜进煙板心接近下3接壁板上。 三起声鸣声袋瑞 寄りのと記哨問で同に夏交して夏で後頭に治って設ける れて上記指は側に扱う出して配置され、上記声の全開時 に上記辞作の日記真で練聞に対明した練聞作劇に接近す 名道交通境板と、上記機能運煙板及び接触成の両者の一 方に装着されてと記字の金閣時に上記両者に挟把される。30 可維性の患行製の傾斜遮備行、並びに上記道反逐構成及 が極低の上記道で縁部に対向した縁部の側の双方の一方 に装着されて上記声の全開時に上記双方の間に供用され る可提性で燃材製の直交速性材の少なくとも一方とを海 えたエレベーター出入口装置。

【発明の詳細な詩明】

foovil

【産業との利用分野】この発明は、遺煙手段を中衛のに 構成したエレベーター出入口装置に関する。

[0 0 0 0 2]

【従来の技術】図では、乗樽に設けられた従来のエレベ ーター出入に決議を示すエンベーター条項に機断浮道図 さある。河において、 シはエンベーターの鬼攻略、心 は異雑路にには近にられたエンベーターのかご。 3 は昇 路路の に構てりた出入立にいた政にられた負標し 計は 出入口は「京禄国を構成する時候」 と は年がき押からな シ 総体 きつ 内部との間に発情を形成して対面して配置 され、物は アンス単に合うが明に、すなわる、大手を 向に差しに反対するに移動して出り口() を開門する 当、は、は長根 (1) のみは固に逆いに難いてに設された。別、されてけると情味に関訴を推攻に接近する接触攻と、中

性。 人名姓氏贝尔用盖斯达数对流和实现特殊 医围口壁 懂シー・ターである。

。【nonings】,能用之二层物量包含于有模模微は定解胶实力。 立模式され、二〇〇十岁一支型¹⁰⁰5月六日初江代提出着¹⁰⁰ 生したときに性情シーノターへから難して興場。3)を囲い、進力内の便では経路とした現代にたり、早降路(1) から減出した難りが進坊に広がったりしないようになっ ている。なお、エンベーター出入工装置の戸(6)は一般 に担信 5 との間に限備し構成される引き声が設けられ 10 名。このため、建物の火災特には呼(か)と辞像(5)の隙間 から種の小足路路 1 内に侵入して進物の他の際に使り が適量して促進が正かることが考えられる。しかし、引 き声が設けられた出入口(4)においてこのような災害の 在がらを防ぐことは返離であって、図しに示すようなエ レベーター直接接置が設けられる。

[0004]

【発用が軽洗しようとする課題】、上記のような従来の工 シベニマー上では装置では、適力に火災が発生したとき に遺煙シャッマー く ガマ塩して発煙(3)を囲う構成であ るため、構築費が選兵、また建築構造への関約が生じて 乗場(3) ていニスス 知道にも支護を及ぼし、また、高観 が損なわれるという問題点があった。

【0903】この発明は、かから問題点を解消するため になざれたものである。河湖にに通徳手段が設けられた 二、ベーマー士人(装置を得ることを組的上する。

[[[0.0.6]]]

【課題を報送するための手段】にの発明の請求項:記載 の発明に係るエンベーター出入工装置においては、エレ ベーマーの出入こを構成する枠体のご面に隙間を形成し、 で対面して配置され、で国に沿う方向に移動して出入コ を開稿するほど、この母の期間方向に沿う縁部に沿って 設けられずの単当の遺跡のが戸袋遺跡のよりも経停から 離れ、声の智児高路に対して傾いて配置された傾斜遮煙 板上、松体の傾斜透煙板に対向した緑面に沿って設けら れ全間時の声の声当り消奇のか戸袋淵奇のよりも戸に接 近して配置されて中の全間時に傾斜遮煙板に接する接触 板と、井の神技清許さの開閉で向に直交した直交縁部に 治って設けられて特体側に振り出して配置され、戸の全 特時に存体の上記道交縁部に対向した縁部外側に接する 初一直交通権板とも設けられる。

【0007】また、この発明の請求項2記載の発明に係 るエレベーター出入口装置においては、エレベーターの 出入力を構成する枠(はの之面に隙間を形成して対面して 配置され、三量に至う方向に移動して出入口を開閉する **声と、この中の質問で向に治り味能に治って設けられ戸** の見当り清晴、かけ侯清晴けよりも辞録から離れ、卓の 情間経路に対して頃いて配置された頃部回悟板と、存住 の最終遺憾改立時期した議範に合って設ける政治関等の 对点调音:满满的水源瓷油等。实外充度过接进心方配置

- 「製油店・17時間が全に直交した減交験部に沿って設 一つので特色優に扱う世上で促進され、同の金階時に探 1823年起其代韓國江江前上四韓國共興江接近本帝盧安建 語校士、域所遺传代を記録無視の場合の一方に接筆され では、全国語の加益共産に共発される可能性が機材製の 対計で循环、企びに重く運動を失び存在の比較直交後面 に対例した検査状態の収集の一方に装置されて呼の全情 時に日経収す返開に決定される可能性の危候製の確認連 使けらいなくとも一方とが設けられる。 [0000]

【作用】と記りように構成されたこの発明の講求項(記 戦の発明によるエンパーター出入に装置は存体と呼の確 間が、発行の機関方向に合う検部において傾斜逻権反及 び接触板の両着の接触により、また、停体の開閉方向に 直交した検索において直交通恒板及び枠体の直交線部の 双方の接触により開催される。

【0009】美だ、江起のように構成されたこの発明の 請求項金組織の発明によるエンベーター出入口装置は降 体と呼の隙間が、控体の開閉方向に治う検部において頃 斜近煙板及び接触板の両着の接触により、また、降体の一切 開稿 写向に道交じた縁部において道交速煙板及び格体の 直交縁起りですの接近によって開展される。 また城部圏 煙板及び接触板の調達の一方に装置されて与り金開時に 上記画者に決正される可能性で意材度の傾斜速煙材、並 びに直で返復成及ご辞命の上記道交縁部に対同した縁部 外側のマグルーダに装置されて早の全開時に上記収力の 間に接定される可能性で物材製の進交遷種材の少なくと も一方を行して問答される。

[0010]

【実施例】

其徳國()。図(→図4はこの発明の→真徳國を示す図 で、図:はエジベーター出入口装置の正面図、図では図 1のA-A県新原図、図3は図:のB-B線断角図、図 4 は図!ので一〇線断囲図である。各図において、()) はエレベーターの昇経路、(3)は尾陰路(1)に閉口した出 入口(4)で(投)でうれ(加美場)、(5)(は出入口(4)の練部を構 成する特徴で、異隔路(1)側の積縮が外側に屈折された | |縁起(51)|| |縁起(51)||の外側がさらに屈折された外縁記(5 2)、出入口(4)の上線記を形成する上陸(53)が構成され ている。「砂は両引き与からなり操体」がのと面との間に、砂 図3及び図4に示す機構のをを形成し44位(お)に対面し て配置され、特殊(3)の立面に占う方向に、すなわら、 水平方向に至いに支持方向に移動して出入口(1)を開閉 する時、「おりは中心の声性に溶圖、つかは中心のは年後 脚溝面、 1000をデストルで変揮揮である。 900を1脚がボ なら(10)、デット ロックよう 子袋側溝面 (10)に表落さ れ、何賀郡海道(2)上海東京)の南田を日本の周辺台 舞、行いは河道を進いた。東京家とい南でを何する道で 虚婚成立、第三変形と考り薄積板で製作され、ボルト 1

開催を対と達せ、「配置されている。」と

【0.9.1.1】 13 はきった上河道、下はちち、月(6)の 等等是可可是完整部分,但为了政治方式。特别是是多(16) 、によってヨーシスと消滅に原定された傾斜速速模で、声・ この 聖はは最高で見され最佳される の の居当り清晰の では説得著でよりも静信から離れ、ほうに開閉経路に **がして傾いて配置されて、弾性変形し易い環鎖板で整作** されている。 17(は傾斜速煙板(15)とほぼ河じ長さに製 作されて上降 330に固定された単位変形し易い薄層板製 10 の設置模で、程度(5)の複雑透透板(15)に対向した機 年、すなわり、上海188%に治って設けられ金精時の声 (5)の子は、海豚のか母後消毒でよりも声(句に接近して 配置されて呼ぶる全間時に質許症煙板(15)に接し、上 極 SD/においる期間Dを開塞する。(18)は出入口(4)の 下級正を構成する数器。(19)は戸19)の幅にほぼ落しい 多三に関係され声。おので式構造(A3)に接着されて数器 (15)の構に挿入され、選手に示す中で10の下端と敷置(1 5) と、浄陶日 白唇ぐ下垂透短板、(2)(は下垂透短板(19) 江夜巻された河辺細である。

【9.0 (2) に起のように構成されたエンベーター出入 日後還において、年7年の全開時には特体(5)の開開方向 に治り後囲において特徴 おと声(おの際間のが、頻料蔵 煙板(1) 及び接触板(1) の調音の選問変形による接触に よ、閉塞される。また、探索 おの開閉方向に道文した 縁郎において存体(5)と声(5)の隙間()が、直で遮煙板(1 コペプロは、5、こ外検証(52)の双方の接種により開答さ れる。さらに、三(か)以下溝と敷居(18)との機関日が下 **郵連増成り出たよって開催される。これによって、建物** の状況時に進力内の種のの保証路(した優美したり、昇 | 漢路(1) から河出した連りが建物に広がったりすること を防ぐことができる。そして、速焼シャッター(S)が不 要であって商易に構成でき少ない費用で速煙作用を得る ことができる。また、速度構造への制約がなく高い自由 度で乗用(3)スペースを利用することができ、美麗が損 なわれるという問題も解消される。

【0:01:3】また、出入口(4)級配と戸(6)の機関が開塞 きれるので、乗将(3)に伝わるエンベーター装置の運転 寄を少なくすることができ、また、かこ(1)の昇降によ って保護路(1)に生じる筋速気流が出入口(4) 縁部と戸 (5) の強調で通過するときの吹鳴音の発生を少なくする ことができる。さらに、非路路は1内外に気圧差が生じ ■ (4)に原在が作用して声(6)の開門動作の関係となるこ とがある。しかし、このようなときに出入口(4) 検部と ^ララに承聞が開客されているこで昇降路(1)における煙 現得長が少なくなり、海路路で、内外の気圧運が小金く なってほう() 1/1/6 男子る機匠が減少し() ほほ() 5.開閉動作 ご確保後出土防ぐことができる。

【ロッミ4】 真猫闹台、図えたが図りはこの発明の他の 3)、ナットに、江美の河流色界(北江崎道されて1966年)別(近次20年間日辺である。20中、20年~20年に河流导は相

当部分を示し、(21)に達交徳煙板(12)及び停体(5)の戸 (6) 開閉方向に対する真交像回に対向した外縁部"825万" 双方の一句に異者されて呼ばれる問時に上記双方の間 に挟圧される可能性の他外裂の真交遷続けて、セラミッ クファイバー等により点交流環内 120 上ほぼ等しい扱き に関係されている。(20)は傾許透情板(15)及び接触板(1 7)の両者の一方に装置されて戸(6)の全間時に上記両者 に挟圧される可能性下燃材製の傾斜遮塘材で、セラミッ クファイバー等により傾斜透槽板(15)とほぼ等しい長さ に関係されている。

【0015】この実施網においても、甲(3)の全間時に は枠体(5)の開閉方向に治う縁部において枠体(5)と声 (6)の隙間口が、減許適種板(15)及び接触板(17)の両者 の弾性変形によって傾斜遮煙材でDが採定されて開落さ れる。また、操体(5)の開閉方向に選択した縁部におい て棒体(5)と声(6)の隙間()が、直交遮煙板(12)及び操体 (5)の外級部(51)のママの接近によって選集通信杯(22) が挟圧されて開発される。さらに、声(6)の下溝上教器 (13) との環間目が下部迷煙板(13)によって開宿される。 でも図し〜図4の写施例と剛様な作用が得られることは 明白である。

【0016】また、到3、到6の復殖例において、重交 遺憾が(21)、頻烈性情が(22)が決定されて特殊(3)と呼 (6)の隙間目が開催されるので開発時の気管性を向上す ることができる。また、戸160の戸閉動作時ので決な戸 当り騒音が少なくなり声(の)動作を静识化することがで きる、

【0017】また、図1~図4の実施例、図5、図6の ができ、エレベーターのかごにおいて、図1~図4の実 施例、図3、図6の実施例と関係な得用が得られること は明白である。また、國王〜國4の復殖例、図3、図6 の実施調を上下に開閉動作する上下引き戸に容易に応用 することができ、上下引き戸において、図1~図4の選 施例、図3、図3の電施例と関係な作用が得られること は明白である。

100181

【発明の効果】以上説明したようにこの発明の講求項1 立面に隙間を形成して対面して配置され、立面に沿っ方 向に移動して出入口を開閉する所と、この戸の開閉方河 に治う報訊に治って設けられ事の可当に対からが可貨場 。 ありよりも推進から離れ、草の開閉経路に対して重いて 配置された傾斜使情報と、機体の傾斜性病板に対向した 練部に治って設けられ金幣時に5つの27年の清節。557数 講演のようもうに接近して配置されて「の登場的に解除 運輸改工技術を接触改立、対点が要は多りに関係を可に 直でした女で株部に合って扱いられてやは何に張り出し **て配置され、ヨの合併品に称出り出記が交換でに対明し、30**

た核認体例に接ても重定透槽板と右段けたものである。

【6 9 1 9】 これによって、中の開閉が降水の開閉が向 に治う該認において資料性煙板及び接触収の両者の接触 により、また、存住の開閉を向に展交した検索において、これ 旗交遷通成及び特性の直交級医の以方の接触により開選 --------される。こだがらて、進物の火災時の出入口の戸におけ る適信担当を、関与に構設でき少ない使用で製作できる 護費により復用する効果がある。

【りりょり】また、この発明の請求項と起数の発明は、 エレバーターの出入口を構設する特体の企画に限期を形 成して対面して配置され、立置に沿う方向に移動して出 入口を開閉する声と、この声の開閉が向に沿う縁耳に沿 って設けられ中の甲当の消毒のが戸後端端のよりも操体 から離れ、ヨの神間秘路に対して傾いて配置された傾斜 適種板と、操体の傾斜透煙板に対向した練頭に迫って設 けられる情報の第四声当り講寄りが可俊淵寄りよりも声 に接近して配置されて戸の全開時に傾斜遮槽板に接近す る接種板と、市の市袋諸等のの開閉が向に直交した真交 緑部に泊って設けられて経体側に張り出して配置され、 したがって、詳細な説明を可略するがこの復稿例におい。

(2) 声の金階時に特徴の上記真で縁部に対向した縁属外側に 接近する直交遭領权と、維維連維权及び接触权の両者の 一方に接着されて呼び金牌時に上記両者に採座される可 換性 医骶 打製 心境 許麼禮好, 並びに直交遷煙板及び停俸 の上記真交锋団に対向した縁団外側の双方の一方に装置 されてヨの全情時に比絶双方の間に挟石される可挽性下 燃材製の直で連続柱の少なくとも一方とを設けたもので

【0 02 1】 これによって、整体と呼の薄間が、整体の 開閉時间に会合は固において興能遮備板及び接触板の画 実施例をエンベーターのかごの戸に容易に応用すること。30 者の接近により、また、特性の開榜方向に直交した縁部 において直交送機械及び操作の直交線部の双方の接近に よって開催される。また頃許適億板及び接触収の両番の 一方に接着されてヨの全開時に上記両者に挟圧される可 操性不燃材製の維許透煙材、並びに直交遮槽板及び停体 の上記道交縁部に対向した縁部外側の双方の一方に装着 されて中の全開時に上記双方の間に狭隘される可提性下 燃材製の直交迷煙材の少なくとも一方を介して開選され る。したがって、進物の火災時の出入口の戸における適 煙作用を、簡写に構成でき少ない費用で製作できる装置 組載の発明は、エンベーターの出入口を構成する枠はの一切。により実用する効果がある。さらに、直交速煙柱、頬針 遭煙材の少なくとも一方が狭隘されて枠体と平の隙間 D が開催されるので開催時の収許性を向上することができ る。また、甲の戸門助作時の関係な単当の整備が少なく なり可動性を作す化する効果がある。

【四重の関連な説明】

【四十】この発明と基施例(を含す二)のデアーは入口 選問して原因

(No.) NECK ARMEN

【14日】14日、15日日東州東洋

【14日】 2417 中子根据金34。

【図3】この発明の発施例2を示す図3相当図。

【図6】図5の度接近における図(相内図、

【図7】 従来のエンベーター出入口表面を示すエレベー **夕一晚得点银兰并直过。**

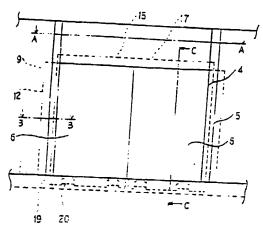
【符号の説明】

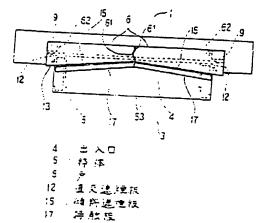
4 出入口 5 特体

。1,20、直交运营税 。。

[31]

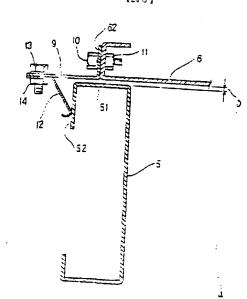
[2]2]

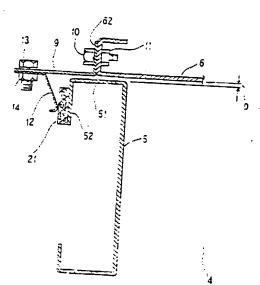




[643]

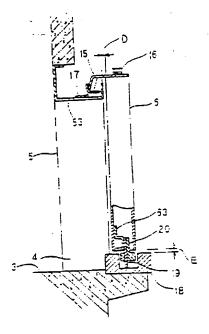
[图3]



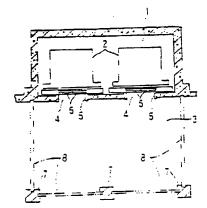


21 直尺速速对





(B7)



[33]

